



会場の青山学院大学総合研究所会議室



小林正弥氏



芳村正徳氏



東方敬信氏



久世望氏

2013年6月23日(日)

14:00 ~ 17:30 (開場 13:30)

会場：青山学院大学総合研究所 12階大会議室

資料代：一般 500円 大学生以下 無料

いま、日本では、近隣諸国との緊張関係が深刻化する中で、憲法をめぐる政治が急浮上してきました。

憲法は、国のかたちを規定するものです。

改憲を主張する人びとは日本の文明に即した国のかたちに改めることを主張するのに対し、護憲を主張する人びとは現在の平和国家の理念を維持することを願うことが多いようです。

そこで今回は、左右の対立を超えて「文明と憲法」を考えるために神道とキリスト教それぞれの宗教的観点から小スピーチをして頂き、リード・オルガンの調べを味わった後で、「国のかたち」について対話型で議論を行い、最後には宗派を超えて平和のために祈ることにします。

皆様、ぜひご参集いただき、貴重な御意見をいただければ幸いです。

「右」とか「左」とかを越えて「前」へ！



これからの国のかたちを考えよう

お申込み・お問い合わせ先：

申し込みページ：<http://bit.ly/169pi3f>

メール：global_spirituality@yahoo.co.jp

(参加お申し込みは申し込みページからお願いします。)

友愛平和の風：<http://uiheiwa.tumblr.com/>

会場：青山学院大学総合研究所 12階会議室
<http://www.ri.aoyama.ac.jp/contact.html>

共催：友愛平和の風、青山学院大学総合研究所

協力：財団法人 尾崎行雄記念財団、賀川豊彦記念松沢資料館、
地球平和公共ネットワーク

メディアパートナー：WEBRONZA



渋谷駅 (JR 山手線・埼京線・京王井の頭線・東急
田園都市線・東急東横線) より青山通り徒歩 10 分。

友愛平和の風——世界へのアート・オブ・ピース（呼びかけ文）

いま、日本は大きな分岐点にある。一方では、東日本大震災・原発事故によって、紫陽花革命と呼ばれるような官邸前の脱原発デモが大きな盛り上がりを見せた反面、原発を維持し、偏狭な国家主義を復活させる流れも存在し、日中韓の領土問題が激化して、武力衝突の危険すら生じている。そこで、私たちは、広島・長崎の被爆や福島の被曝という二重の体験に基づき、日本から、友愛（愛・慈悲・仁など）と正義を中心的理念として、反核、脱原発、非戦、環境保全、貧困問題の解決などを論点として議論し、地球的ないし地域的な平和・良き環境・福祉の実現を目指して、なるべく多くの人びとの地球的結集を図りたいと思う。さらに、私たちは友愛に基づく政治や平和的経済、さらには友愛世界が実現することを目指す。この大きな目的の実現には、人種・民族・宗教・価値観などの差違を乗り越えて、友愛に基づき、「和して同ぜず」という「和」（調和）の精神で、超党派的・超宗派的に協力することが必要である。意見の一致を無理に求めず、個々人の行動の自由を尊重して、友愛に基づく対話によって、運動がダイナミックに発展していくことを目指す。その方法として、闘争的・暴力的な方法ではなく、内的平安に基づいて外的平和の実現を目指し、精神的な友愛に基づき、非暴力的なアート・オブ・ピースとしての「友愛平和の対話・祈り（瞑想）・芸術」を発展させたい。私たちは、こうして、明るく、楽しい「ポジティブ・ピース・ムーブメント」を巻き起こし、友愛平和の風を地球中に吹き渡らせたい。それによって二度と被爆や被曝が起こらないように力を尽くし、地球の危機を回避して、地球的友愛により平和・良き環境・福祉という公共善を実現することを、改めて心に誓う。

【プログラム（概要）】

14:00-14:05：ご挨拶 本間照光（青山学院大学院総合研究所前所長）

14:05-14:50：第一部「文明と憲法——宗教的観点から」小林正弥（千葉大学教授）

小スピーチ 「神道から改憲を考える」 芳村正徳（神道神習教教主、教派神道連合会理事長）

小スピーチ 「文明の視点からみる平和のかたち」 東方敬信（青山学院大学名誉教授）

14:50-15:10：休憩

15:10-15:25：平和のためのアート リードオルガン演奏 久世望（日本リードオルガン協会会長）

15:25-17:15：第二部 白熱教室「これからの国のかたちを考えよう——左右対立を超えて」小林正弥

17:15-17:25：友愛平和の祈り 本山一博（玉光神社権宮司）

17:25-17:30：閉会挨拶 稲垣久和（東京基督教大学教授）

（延長は 18:00 まで）

※時間は流動的などころがあります。

※小スピーチの数や順序は変更されることがあります。

※当日の発言は録画・録音され、公開されることがありますので、予めご了承ください。

【登壇者：プロフィール】

●小林正弥：千葉大学大学院人文社会科学部研究科教授。1963年東京都生まれ。東京大学法学部卒。1995～97年、ケンブリッジ大学社会政治学部客員研究員及びセルウィン・コレッジ準フェローを経て現職。千葉大学地球環境福祉研究センター長。専門は、政治哲学、公共哲学、比較政治。マイケル・サンデル教授と交流が深く、NHKで放映された「ハーバード白熱教室」では解説も務める。

●芳村正徳：1964年生まれ。明治大学法学部法律学科卒。國學院大学文学部神道学科卒。元文部科学省宗教法人審議会委員。元公益財団法人日本宗教連盟理事長（現在同理事）。教派神道連合会理事長。桜神宮宮司。神道神習教教主。

●東方敬信：兵庫県に生まれる。1966年青山学院大学経済学部卒業。1970年東京神学大学修士課程修了。1996-97年デューク大学客員教員。日本基督教団銀座教会副牧師、経堂緑岡教会牧師、富士見丘教会担任教師及び現在青山学院大学宗教主任・総合文化政策学部教授を経て現在同大学名誉教授。日本基督教学会理事。

●久世望：東京神学大学卒業、キリスト教音楽学校オルガン科卒、元日本基督教団讃美歌委員、ヤマハエレクトーン講師、教団隠退教師（元上田新参教会牧師）、現日本リードオルガン協会会長、長野県アコーディオン協会会員、オルガニスト（長野本郷教会）。

●本山一博：玉光神社権宮司。1962年生まれ。筑波大学物理学研究科中退 理学修士。東京工業大学理工学研究科後期博士課程単位取得退学。新日本宗教団体連合会理事。宗教間対話、霊性交流を通して、宗教及び宗教実践の多様性を支える普遍構造を探ることに興味があり、それを個人の幸福とよりよい地球社会の実現に役立てたいと思っている。

●稲垣久和：東京基督教大学教授。東京都立大学大学院からアムステルダム自由大学哲学・神学部客員教授を経て現職。公共哲学研究をもとに市民運動と関わりつつ、現在、公共福祉研究会・東京を主宰。著作：『公共の哲学の構築をめざして』『宗教と公共哲学』『国家・個人・宗教』『公共福祉という試み』など。